

第1回 経営発達支援計画事業評価委員会 会議録

- 1 招集通知 令和6年2月8日(木)
- 2 開催日時 令和6年2月29日(木) 13:30~14:30
- 3 開催場所 瀬戸内市商工会 会議室
- 4 出席者 9名
委員長 福崎 勇(商工会副会長)
副委員長 長岡 秀樹(商工会副会長)
委員 山口 卓男(地域振興事業委員会委員長)
藤井 雅司(経営支援事業委員会副委員長)
神坂 俊規(地域振興事業委員会副委員長)
山本 信幸(青年部長)
内藤 志保子(女性部長)
谷村 和也(日本政策金融公庫上席課長代理)
オブザーバー 元浜 詳一(商工会会長)

5 議長 福崎 勇

6 協議事項

- (1) 令和5年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について
- (2) 令和6年度「経営発達支援計画」に基づく事業の取組みについて
- (3) その他

7 議事の経過と結果

(開 会)

定刻に至り、司会者(石原事務局長)が事業評価委員会を開催する旨を宣した。

司会者は元浜会長に挨拶を求め、元浜会長が挨拶を行った。

続いて、司会者は委員長に開会の挨拶を求め、福崎委員長が挨拶を行った。その後、司会者は、外部委員(日本政策金融公庫)に自己紹介を求めた。

司会者は委員会規程第6条に基づき福崎委員長に議長就任を求め、福崎委員長は議長に就任した。

(協議事項)

福崎委員長は、「(1) 令和5年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局(佐藤)は資料1、参考資料1、2、3、4により説明した。

福崎委員長は、このことについて意見を求めたところ次の発言があった。

<発言要旨>

福崎委員長：フォローアップ支援について具体的に内容を聞きたい。

事務局(佐藤)：補助金活用後及び融資実行後等に、現在の状況及び今後の方向性についてヒヤリングを実施している。

藤井委員：広域での支援が多く、小規模事業者が活用できるよう少しポイントを絞った支援が必要ではないか。

福崎委員長：広域での内容が多くなっているが、商工会は行政と連携し、各地域の特徴を活かした支援を実施していく。

事務局(松本)：経営発達支援計画は、基本的に個社の伴走支援を主として実施している。引き続き小規模事業者に寄り添った支援に注力する。

その他、元浜オブザーバーより、瀬戸内市のコンパクトシティ構想について説明及び意見交換があった。

議長は出席者に、その他意見を求めたところ、特に発言はなく挙手にて承認された。

福崎委員長は「(2) 令和6年度「経営発達支援計画」に基づく事業の取組みについて」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局(佐藤)は資料2により説明した。

福崎委員長はこのことについて意見を求めたところ次の発言があった。

<発言要旨>

山本委員：販路開拓に関する展示会への出店について、飲食系関係の出展が主となっているが、業種の偏りがあるので工業系の展示会への出展も考えては良いのではないか。

事務局(松本)：当初計画では、瀬戸内市商工会推奨品の支援として出展を行っている。現在推奨品内では食品関係の商品が多く、今後、工業製品が多くなれば検討する。

福崎委員長：展示会出展において、今後業種を柔軟に考えることが良い。

神坂委員：資料２の（２）地域振興事業に係る交流人口増加プラン等の検討について具体的内容を聞きたい。

事務局（佐藤）：交流人口増加に関しては難しい課題である。行政と連携を取りつつ、参考資料２の地域の人口動態統計等を活用し情報提供を行うこととなる。

議長は出席者に意見を求めたところ、特に発言はなく挙手にて承認された。

福崎委員長はその他、何かないか諮ったところ、特に発言はなかった。

（閉 会）

司会者は閉会の挨拶を長岡副委員長に求め、長岡副委員長は閉会の挨拶を述べた。時に１４時３０分であった。